

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成26年1月27日

上場会社名 カゴメ株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 2811 URL http://www.kagome.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 直行
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション本部IR部長 (氏名) 曾根 智子 (TEL) 03-5623-8501
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	150,246	△1.9	7,326	△27.1	7,991	△24.6	5,628	△21.0
25年3月期第3四半期	153,213	10.5	10,048	24.0	10,592	23.9	7,124	72.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 11,211百万円(37.2%) 25年3月期第3四半期 8,174百万円(234.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	56.62	—
25年3月期第3四半期	71.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	194,232	114,476	56.8	1,110.75
25年3月期	168,965	104,432	60.1	1,020.86

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 110,233百万円 25年3月期 101,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	20.00	20.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	195,000	△0.6	6,800	△26.7	7,200	△28.2	4,700	△27.5	47.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料 8 ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期3Q	99,616,944株	25年3月期	99,616,944株
26年3月期3Q	374,587株	25年3月期	152,284株
26年3月期3Q	99,401,999株	25年3月期3Q	99,465,196株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 6～7 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参 考)

平成26年3月期の個別業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,000	△ 4.5	6,700	△ 33.0	7,400	△ 30.8	4,100	△ 33.1	41.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	8
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	8
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	8
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	8
3. 四半期連結財務諸表	9
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	11
第3四半期連結累計期間	11
第3四半期連結会計期間	13
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	15
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	17
(継続企業の前提に関する注記)	17
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	17
(セグメント情報等)	17
4. その他	28
役員の異動	28
5. (参考) ハイライト情報	29
(1) 主要な経営指標の推移	29
(2) 主な当社グループの状況及び業績	30
(3) 販売費及び一般管理費明細	33
(4) 売上原価に含まれるたな卸資産廃棄損及び評価損明細	33
(5) 四半期損益情報	34
(6) セグメント売上高及びセグメント利益	35
(7) 四半期個別貸借対照表	41
(8) 四半期個別損益計算書	43

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日～12月31日)は、当社にとっては、当年度より新たに策定した平成27年度までの中期経営計画「Next 50」の初年度であり、国内における「新たな需要の創造」、海外における「マルチリージョナル×グローバルな成長」、「資源の強化・連携と最適配分」、社会とともに成長するための「Think GREEN KAGOME」を重点戦略として取り組んでおります。

売上高につきましては前年同期を下回りましたが、これは平成25年4月より国内のトマトケチャップ・ソース・パスタソース・野菜飲料のうち、一部主力商品の価格を変更したことによる減収影響(売上高の減少と同額の販売促進費の減少)があるためです。当期の価格制度を適用したと仮定して組み替えた前年同期は上回っており、実質的には増収です。

国内におきましては、飲料と食品は、実質的には前年並みでした。また業務用、ギフト、生鮮野菜、通販につきましては継続して成長しており、いずれの事業におきましても過去最高の売上高となりました。

海外におきましては、平成24年6月末にポルトガルの関連会社Holding da Industria Transformadora do Tomate, SGPS S.A.を連結子会社化したため、第1四半期連結累計期間の同社の売上高が純増しているほか、円安によって円換算での売上高が増加したことなどにより、増収となりました。

利益面につきましては、売上原価率が前年同期比3.2ポイント上昇しております。その主な要因は、国内におきまして、上述した一部主力商品の価格変更に伴い売上高が減少したためです。売上原価率の実質的な上昇は0.7ポイントであり、主な要因は為替が当社にとって悪影響したことによるものですが、第1四半期連結累計期間(平成25年4月～6月)における生鮮トマトの市況が当社にとって悪影響した要因もありました。売上高に対する販売促進費の割合は、前年同期比3.1ポイント低下しております。その主な要因も価格の変更による影響であり、上述の通り価格変更による減収と同額の販売促進費の減少があったためです。一方で、価格の変更月である平成25年4月のみ一時的に旧価格制度での販売促進費が計上されました。販売促進費に関わるこれらの要因を考慮した場合の、売上高に対する販売促進費の割合は、実質的に0.4ポイントの上昇となります。広告宣伝費は通販事業において新たなお客様を獲得するために活用したため、1億74百万円増加いたしました。

海外におきましては、米国・欧州・豪州におきましては円安による円換算での利益の増加がありましたが、現地通貨ベースでも米国・欧州・豪州・アジアすべてのセグメントにおいて利益が改善いたしました。

以上の結果として、営業利益は前年同期に対して減少いたしました。

以下、参考として、第3四半期連結累計期間の連結損益計算書につきまして、①前年同期、②当期の価格制度を適用したと仮定して組み替えた前年同期、③当第3四半期連結累計期間を並べて掲載いたします。

科目	(単位：百万円、%)							
	①前第3四半期 連結累計期間		②前第3四半期 連結累計期間 〈組替後〉 (注1)		③当第3四半期 連結累計期間		実質増減 (③-②)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率
売上高	153,213	100.0	145,955	100.0	150,246	100.0	4,290	2.9
売上原価	76,974	50.2	76,974	52.7	80,227	53.4	3,252	4.2
売上総利益	76,238	49.8	68,981	47.3	70,018	46.6	1,037	1.5
販売手数料	3,636	2.4	3,636	2.5	3,629	2.4	△6	△0.2
販売促進費	28,921	18.9	21,663	14.8	23,725	15.8	2,061	9.5 (注2)
広告宣伝費	5,280	3.4	5,280	3.6	5,454	3.6	174	3.3
運賃・保管料	7,854	5.1	7,854	5.4	8,426	5.6	572	7.3
人件費	11,580	7.6	11,580	7.9	11,939	7.9	358	3.1
その他	8,916	5.8	8,916	6.1	9,517	6.4	600	6.7
販売費及び一般管理費	66,189	43.2	58,932	40.3	62,692	41.7	3,760	6.4
営業利益	10,048	6.6	10,048	7.0	7,326	4.9	△2,722	△27.1

(注) 1 平成25年3月期に平成26年3月期の価格制度を適用したと仮定した場合。

2 価格制度の変更月である平成25年4月のみ一時的に計上された旧価格制度での販売促進費875百万円を含む。これを控除した場合の③の売上高に対する販売促進費の割合は15.2%。

③と②の比較が実質的な利益の増減を表しております。売上高は増加し、売上原価率は主に為替や生鮮トマトの市況が悪影響したことにより、上昇いたしました。販売促進費の増加は、上述した価格の変更月における旧価格制度での計上という一時的なものと、販促手段の獲得のための費用の増加によるものです。広告宣伝費等の費用の増加は、「Next 50」実現のための投資的費用の活用によるものです。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比1.9%減の1,502億46百万円、営業利益は前年同期比27.1%減の73億26百万円、経常利益は前年同期比24.6%減の79億91百万円となりました。なお8月、保有していた投資有価証券を売却し、その際に生じた売却益を特別利益として計上しております。また12月、当社29%出資の持分法非適用関連会社であったTat Tohumculuk A. S.の株式を追加取得し、連結子会社としたことにより発生いたしました、段階取得に係る差益を特別利益として計上しております。その結果、四半期純利益は前年同期比21.0%減の56億28百万円となりました。

セグメントの業績の概況は、次の通りであります。

<国内事業>

国内事業の売上高は、飲料事業及び食品事業における価格の変更による減少を含めて、前年同期比4.7%減の1,403億85百万円となりました。各事業別の売上高の状況は、以下の通りです。

① 飲料事業

野菜飲料カテゴリーにつきましては、「野菜生活100」シリーズにおいて、重点マーケティングテーマ「地産全消」を象徴する商品として「野菜生活100 沖縄シークワサーミックス」（平成25年5月発売）、「野菜生活100 北海道ハスカップミックス」（同6月発売）、「野菜生活100 かぼすミックス」（同8月発売、西日本エリア限定）、「野菜生活100 ナイアガラムックス」（同9月発売）、「野菜生活100 ラ・フランスミックス」（同10月発売）、「野菜生活100 ゆずミックス」（同11月発売）、「野菜生活100 とちおとめミックス」（同12月発売）といった、地域色が豊かで季節感の溢れる期間限定商品が好調に推移いたしました。「野菜一日これ一本」シリーズにつきましては、缶商品の賞味期限を3.5年に延長したことを契機に、「野菜の保存食」としての価値を提案し、これまで取引の無かったチャンネルへの普及が進みました。またシニア世代をターゲットとして、一日に必要な野菜量350g分を125mlに濃縮した「野菜一日これ一本 超濃縮」シリーズにつきましては、小売店への配荷が進んだことや、9月に新商品「野菜一日これ一本 超濃縮しっかり食物繊維」を発売したこともあり、好調に推移いたしました。トマト飲料につきましては、7月にはトマトから生まれたスポーツドリンク「TOMATO WATER」をコンビニエンスストア限定で発売、8月には毎年好評頂いております新物のトマトジュースにおきまして、トマトのフレッシュな美味しさを実現した低温度帯の商品を数量限定で発売、10月にはトマト果汁を使用し、華やかでクリアな色合いとすっきりした味わいが特長の炭酸飲料「TOMASH」を発売し、好評を頂きました。

これら施策を行いました。野菜飲料カテゴリー合計では、価格制度の変更もあり減収となりました。また、実質的にもトマトブームの反動によるトマトジュースの落ち込みをカバーしきれず、前年を僅かに下回りました。

乳酸菌カテゴリーにつきましては、8月までは前年を下回る水準が続いておりましたが、9月に機能を価値とした新商品「植物性乳酸菌ラブレ Light 1日分の鉄分」を発売し、俳優の松田龍平さんを起用したTVコマercialも行った結果、10月以降は毎月、前年を4～8%上回り好調に推移いたしました。

その結果、飲料事業の売上高は、価格の変更による減少を含めて、前年同期比8.2%減の688億59百万円となりました。

② 食品事業

トマトケチャップにつきましては、ナポリタンスパゲティのメニュー提案に注力したことなどにより、好調に推移いたしました。平成25年11月にはメニュー提案の取り組みを象徴するイベントとして、全国の絶品ナポリタンを集めた『ナポリタンスタジアム』を横浜にて開催し、好評を頂きました。トマト調味料につきましては、平成25年3月に発売いたしました、使いやすく環境負荷の低い紙容器「トマトパック」シリーズの育成に注力いたしました。中でも「かけるトマト」につきましては、パックを開けたらそのままトマトを手軽に料理にかけられるということ、「おかずの上を、トマトかけめぐる。」というメッセージで伝える広告を行ったこともあり、予想を遥かに上回る好評を頂き、一時販売を休止せざるを得なくなりましたが、12月には全国での販売を再開いたしました。パスタソースにつきましては、8月に人気の瓶入りパスタソースである「アンナマンマ」シリーズから新たに3品のフレーバーを発売いたしました。手軽に、トマトの濃いおいしさをお楽しみ頂けることに高い評価を頂き、好調に推移しております。ソースにつきましては堅調に推移いたしました。

食品事業合計では価格制度の変更のために減収となりましたが、実質的には前年並みの売上水準でありました。

その結果、食品事業の売上高は、価格の変更による減少を含めて、前年同期比16.7%減の174億83百万円となりました。

③ ギフト事業

中元・歳暮市場全体は縮小という厳しい環境下、当社では各流通チャネルにおいて高い採用率を獲得し、第3四半期連結累計期間における過去最高の売上高となりました。野菜飲料ギフトや国産フルーツジュースギフトに加え、企業限定や地域限定などプレミアム感を打ち出した商品が好調に推移いたしました。またトマトの焼き菓子「トマッティニー」やトマトのゼリー「Fruttoma(フルットマ)」といったスイーツギフトにより、母の日や手土産といった中元・歳暮期以外の需要を開拓できました。

その結果、ギフト事業の売上高は、前年同期比4.6%増の80億75百万円となりました。

④ 生鮮野菜事業

「ダブルトマトでおいしく！」をテーマに「トマトフェア」や「カゴメフェア」など野菜飲料や食品と連動した店頭展開の機会を獲得できたことや、生鮮トマトの収穫量を増やし、出荷の増加に繋げることができたこともあり、第3四半期連結累計期間における過去最高の売上高となりました。

その結果、生鮮野菜事業の売上高は、前年同期比8.5%増の76億51百万円となりました。

⑤ 通販事業

主力商品「毎日飲む野菜」につきましては、平成25年6月に新たなお客様を獲得するための広告手段を追加したことにより7月以降の販売量が増加し、好調に推移いたしました。また、商品供給体制が整い3年ぶりに再発売いたしました数量限定商品「桃しぼり」の販売も好調であり、売上高の増分に寄与いたしました。

その結果、通販事業の売上高は、第3四半期連結累計期間におきましては過去最高となり、前年同期比8.8%増の66億44百万円となりました。

⑥ 業務用事業

「トマト素材」「トマトソース」「野菜素材」「野菜飲料」を重点商品カテゴリーに設定し、売上拡大を図ってまいりました。大手ユーザーや産業用に向けたサポート体制を強化してきた成果が表れ、売上高は順調に推移いたしました。「トマト・ディスクバリーズ」の取り組みといたしましては、既述の『ナポリタンスタジアム』の開催にあたり食品事業との連携を強化し、ナポリタンスバゲティのメニュー普及に努めました。またその他にも、カルビー(株)との初めてのコラボレーション商品といたしまして「ポテトチップス カゴメトマトケチャップ味」が同社より発売されました。

その結果、業務用事業の売上高は、第3四半期連結累計期間におきましては過去最高となり、前年同期比1.6%増の199億20百万円となりました。

⑦ その他事業

運送・倉庫業、不動産賃貸業、パーキング事業、農業資材販売事業などをあわせた国内におけるその他事業の売上高は、前年同期比8.6%増の117億50百万円となりました。

<海外事業>

海外事業の売上高は、前年同期比40.5%増の232億56百万円となりました。各地域別の状況は、以下の通りです。

① 米国

米国子会社であるKAGOME INC.は、円安に伴い円換算での売上高が増加いたしました。現地における大手顧客向けの出荷も順調に推移しております。

その結果、米国における売上高は、前年同期比29.3%増の105億91百万円となりました。

② 欧州

ポルトガルの子会社Holding da Industria Transformadora do Tomate, SGPS S.A.を平成24年6月末に連結子会社化いたしましたので、同社の第1四半期連結累計期間分の売上高が純増いたしました。イタリアの子会社であるVegitalia S.p.A.は、円安に伴い円換算での売上高が増加いたしました。

その結果、欧州における売上高は、前年同期比106.1%増の75億7百万円となりました。

③ 豪州

豪州子会社であるKagome Australia Pty Ltd.につきましては、主要顧客へのトマト加工品の販売が当初予定していた時期から後ろ倒しとなったこともあり、売上高が前年同期を下回りました。

その結果、豪州における売上高は、前年同期比6.9%減の27億4百万円となりました。

④ アジア

台湾可果美股份有限公司は、円安に伴い円換算での売上高が増加いたしました。現地通貨ベースでの売上高も前年を上回る水準で推移しております。可果美(杭州)食品有限公司は、香港市場向けの野菜飲料の生産量が増えていることに加えて、円安の影響もあり売上高が増加いたしました。

その結果、アジアにおける売上高は、前年同期比35.4%増の24億52百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間は、総資産につきましては、前期末に比べ252億66百万円増加いたしました。

流動資産につきましては、前期末に比べ196億17百万円増加いたしました。

主な流動資産の変動は、「現金及び預金」が53億34百万円、「商品及び製品」が37億9百万円、「原材料及び貯蔵品」が30億6百万円、流動資産「その他」が69億14百万円それぞれ増加したことによります。

固定資産につきましては、前期末に比べ56億49百万円増加いたしました。

主な固定資産の変動は、「有形固定資産」が27億35百万円、「無形固定資産」が16億98百万円、「投資その他の資産」が12億16百万円それぞれ増加したことによります。

負債につきましては、前期末に比べ152億22百万円増加いたしました。

主な負債の変動は、「支払手形及び買掛金」が24億84百万円、「短期借入金」が54億55百万円、「長期借入金」が74億23百万円それぞれ増加し、「未払金」が22億31百万円減少したことによります。

純資産につきましては、前期末に比べ100億44百万円増加いたしました。

主な純資産の変動は、剰余金の配当19億89百万円、四半期純利益56億28百万円などにより「利益剰余金」が39億32百万円増加したこと、「繰延ヘッジ損益」が36億45百万円、「為替換算調整勘定」が10億29百万円それぞれ増加したことによります。

この結果、自己資本比率は56.8%、1株当たり純資産は1,110円75銭となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況に関する説明)

当第3四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物は、268億8百万円となり、前期末比で24億91百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、39億1百万円の純収入（前年同期は87億39百万円の純収入）となりました。この主要因は、税金等調整前四半期純利益が92億64百万円となったこと、減価償却費が38億27百万円となったこと（以上、キャッシュの純収入）、たな卸資産が35億26百万円増加したこと、未払金が16億35百万円減少したこと（以上、キャッシュの純支出）、法人税等の支払いにより43億22百万円を支出したことによります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、110億24百万円の純支出（前年同期は36億33百万円の純支出）となりました。この主要因は、定期預金の預入により118億4百万円を支出したこと、定期預金の払戻により90億円の収入となったこと、固定資産の取得により59億39百万円を支出したこと、連結範囲の変更を伴う子会社株式及び出資金の取得により28億8百万円を支出したことによります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、92億35百万円の純収入（前年同期は95億79百万円の純収入）となりました。この主要因は、短期借入金の純増減により36億57百万円の収入となったこと、長期借入金の借入により87億28百万円の収入となったこと、長期借入金の返済により10億69百万円を支出したこと、配当金の支払により19億86百万円を支出したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

<国内事業>

① 飲料事業

野菜飲料カテゴリにつきましては、野菜そのもののおいしさを引き出す事に加えて、野菜を手軽に摂取できる価値を更に深耕し、市場全体を成長させる需要創造に取り組んでまいります。このことはお客様の健康に貢献することにつながり、野菜飲料カテゴリのトップブランドとして当社が果たすべき責務でもあります。具体的には、「三世代飲料」として個々の生活者の健康期待への対応力を高めていくとともに、生活リズムやスポーツシーンなどのライフイベントにも幅広く向き合うことで、お客様と深く永く付き合える飲料を目指してまいります。

トマト飲料につきましては、「トマト×運動」の訴求を強化してまいります。内容といたしましては、毎日の食事にトマトを積極的に取り入れ、トマトが持つ多くの運動サポート効果をより高く、最大限に活用する食事トレーニングとして「トマト・ローディング」を提案してまいります。なお、この提案の一環といたしまして、平成26年1月、普段から緑黄色野菜の摂取を心掛け、43歳を迎えた現在も年齢を超えて進化し続けているプロテニス選手、クルム伊達公子選手とのスポンサー契約を締結いたしました。今後は、トマトや野菜を中心とした商品や研究情報の提供などを通じて、世界で活躍するクルム伊達選手を長期的に応援してまいります。

野菜生活シリーズにつきましては、季節感溢れ特長ある産地の原料を使用した期間限定商品の開発を継続し、「地産全消」で地域の美味しさを全国に届ける活動によって、新たなお客様の獲得とともに、地域の活性化を目指してまいります。平成26年2月には長野産の川中島白桃を原料に使用した「野菜生活100 白桃ミックス」を発売し、拡販に努めてまいります。

野菜一日これ一本シリーズにつきましては、好調な「超濃縮」シリーズの更なる拡販に努めてまいります。

乳酸菌カテゴリにつきましては、好調に推移しております「植物性乳酸菌ラブレ Light 1日分の鉄分」に加え、2月には新商品として、コラーゲンと1日分のビタミンCを含む「植物性乳酸菌ラブレ Light コラーゲン」や、1日分の鉄分、ビタミンCなどを含む「植物性乳酸菌ラブレα (アルファ)」を発売し、拡販に努めてまいります。

② 食品事業

トマトの持つおいしさ、彩り、ヘルシーさといった価値を商品やメニューを通じて発信し、トマトメニュー調味料の魅力を高めてまいります。

メニューといたしましては、トマトが主役のメニューとしてナポリタンスパゲティや鶏肉のトマト煮を、トマトでおいしく食べられるメニューとしてトマト炒めやサラダめんを重点メニューとして浸透に注力し、トマトメニューを敷居の低い普段使いのメニューとして広めてまいります。

新商品といたしましては、パンにのせるだけで簡単においしく野菜が食べられる調味料「パンのせ野菜シリーズ」を平成26年2月に発売し、拡販に努めてまいります。

③ ギフト事業

飲料ギフトの市場そのものは近年縮小傾向にありますが、健康・おいしさ・思いやり・限定感といったカゴメギフトならではの贈答需要の創造を目指してまいります。スイーツやフリーズドライのスープなどの新しいカテゴリへの挑戦や、インターネット通販やカタログ通販など拡大する販売チャネルへの機動的な対応力を強化することで、ギフト事業の幅を広げて成長を目指してまいります。

④ 生鮮野菜事業

「こくみトマト」ブランドの「ラウンド」、「プラム」及び育成商品である「高リコピントマト」、「ちいさなももこ」を中心に、生鮮トマトメニューの情報発信を強化してまいります。特に小売店の店頭においては、当社家庭用商品との連動展開により「ダブルトマトでおいしく！」をテーマに、露出機会の増加と需要の拡大を図ってまいります。また、平成26年2月には「トマト・ローディング」の提案の一環として、昨年に引き続き協賛をする東京マラソンにおいて「高リコピントマト」、「ちいさなももこ」を東京マラソン公認トマトとしてランナーの皆様に配布する予定であり、「トマト×運動」の浸透に努めてまいります。

⑤ 通販事業

「毎日飲む野菜」を中心として、トライアルキャンペーンや広告投資により新規のお客様を獲得し、更なる売上高の拡大を図ってまいります。今後もシーズンや産地を訴求した飲料など、野菜と果実の魅力を追求し、健康価値にとどまらない多面的な価値を持つ商品を開発・発売してまいります。また、飲料に次ぐ事業の柱にすべくサプリメントの拡大にも取り組んでまいります。

⑥ 業務用事業

野菜飲料の市場拡大により、レストランのドリンクバーやホテルの朝食バイキングをはじめとする外食シーンにおきましても野菜飲料を飲みたいというお客様ニーズが高まっております。それに対応して飲料の新商品といたしまして、平成26年2月、水を加えて作るタイプの業務用野菜飲料「濃縮野菜・オレンジミックス」「濃縮野菜100%ミックス」の2品を発売いたします。既存商品を加えた濃縮野菜飲料シリーズでお客様の飲用ニーズにお応えしてまいります。また、外食や中食の市場においてトマトクリームメニューの人气が高まってきており、これを機会と捉え、1月に食品の新商品といたしまして「トマトクリームソース」を発売し、メニュー提案を強化いたします。その他にも、1・2月に病院や福祉施設における給食向けの商品といたしまして食品6品、飲料2品の計8品の新商品を発売し、拡大する介護食市場への対応力を高めてまいります。

⑦ その他事業

引き続き、運送・倉庫業、不動産賃貸業、パーキング事業、農業資材販売事業などを行ってまいります。

<海外事業>

米国・欧州・豪州におきましては、主にトマトの原料生産・加工・販売事業を展開しており、グループ企業の連携を強化することにより、各リージョンにおける成長と、グローバルなトマト事業全体でシナジーを生む成長を目指しております。平成25年12月には、米国をはじめ5か国に事業会社を持ち、グローバルにトマトや野菜、フルーツの種子開発・生産・販売を展開しておりますUnited Genetics Holding LLC（以下、UG社）を連結子会社といたしました。また、トルコにおける加工用トマト種子販売1位であり、当社29%出資の持分法非適用関連会社であったTat Tohumculuk A.S.（以下、TAT種苗社）の株式を追加取得し、12月に連結子会社といたしました。UG社及びTAT種苗社を連結子会社とすることにより、今後は種苗開発から、原料生産、加工、販売という垂直統合バリューチェーンを更に強化し、競争力を高めてまいります。

アジアにおきましては、東アジア・ASEAN・インドのリージョン毎に、現地市場に立脚した事業の組み立てを促進し、成長の早期化を目指してまいります。6月には、インドにおいて三井物産㈱及び現地の食品メーカーであるRuchi Soya Industries Limitedと共同でトマト加工品の製造・販売事業を行うRuchi Kagome Foods Pvt. Ltd.を設立いたしました。また9月には中国にて業務用のトマト調味料の製造販売、仕入販売を行う可果美(天津)食品制造有限公司を設立いたしました。両社ともに、現在事業開始に向けて準備を進めております。なお、タイにおける飲料の商品開発・販売業を展開しておりますOSOTSPA KAGOME CO., LTD.におきましては、9月にコンシューマー向けの小瓶入りワンショットトマト健康飲料「Tomato Essence」を発売いたしました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

有形固定資産の減価償却方法の変更

従来、当社及び一部の国内連結子会社は有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について主として定率法（平成10年4月1日以降取得した建物（建物附属設備を除く）については定額法）を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法へ変更しております。

この変更は、当連結会計年度を初年度とする中期経営計画「Next 50」の策定に際し、①有形固定資産の利用状況を調査した結果、当社グループの有形固定資産は、耐用年数内で安定的に稼働していること、②今後の中期的な主たる投資内容を慎重に分析した結果、昨年度の茨城工場チルドライン投資を含めて、今後の主なライン設備投資は、安定的に稼働させることを目的とし、かつ、安定的稼働が見込まれること、③グループの製品群も安定的な収益の獲得が見込まれることから、使用可能期間にわたり平均的に費用配分することが、設備の利用実態を適切に反映していると判断したためであります。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の減価償却費は729百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ676百万円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,498	23,833
受取手形及び売掛金	27,175	28,415
有価証券	14,817	14,778
商品及び製品	15,031	18,740
仕掛品	590	264
原材料及び貯蔵品	14,515	17,522
その他	8,316	15,230
貸倒引当金	△111	△334
流動資産合計	98,835	118,452
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,611	15,113
機械装置及び運搬具(純額)	13,809	14,647
工具、器具及び備品(純額)	869	1,065
土地	12,814	13,381
リース資産(純額)	1,373	745
建設仮勘定	787	2,048
有形固定資産合計	44,265	47,001
無形固定資産		
のれん	1,996	4,166
ソフトウェア	2,802	2,322
その他	382	390
無形固定資産合計	5,182	6,880
投資その他の資産		
投資有価証券	14,421	15,692
その他	6,352	6,290
貸倒引当金	△90	△84
投資その他の資産合計	20,683	21,899
固定資産合計	70,130	75,780
資産合計	168,965	194,232

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,803	17,287
短期借入金	7,010	12,465
1年内返済予定の長期借入金	1,006	2,339
未払金	11,594	9,362
未払法人税等	2,283	1,672
賞与引当金	2,386	1,187
役員賞与引当金	76	59
その他	2,687	4,614
流動負債合計	41,848	48,989
固定負債		
長期借入金	15,522	22,946
退職給付引当金	2,839	3,192
その他	4,322	4,627
固定負債合計	22,684	30,766
負債合計	64,533	79,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,985	19,985
資本剰余金	23,733	23,733
利益剰余金	54,599	58,531
自己株式	△212	△588
株主資本合計	98,106	101,661
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,254	2,718
繰延ヘッジ損益	1,664	5,310
為替換算調整勘定	△485	543
その他の包括利益累計額合計	3,433	8,571
少数株主持分	2,892	4,242
純資産合計	104,432	114,476
負債純資産合計	168,965	194,232

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	153,213	150,246
売上原価	76,974	80,227
売上総利益	76,238	70,018
販売費及び一般管理費	66,189	62,692
営業利益	10,048	7,326
営業外収益		
受取利息	218	187
受取配当金	241	214
持分法による投資利益	34	52
為替差益	43	132
その他	276	276
営業外収益合計	815	863
営業外費用		
支払利息	198	110
その他	72	87
営業外費用合計	271	198
経常利益	10,592	7,991
特別利益		
固定資産売却益	320	323
投資有価証券売却益	1	677
受取補償金	494	—
負ののれん発生益	214	—
持分変動利益	48	—
段階取得に係る差益	—	393
特別利益合計	1,079	1,393
特別損失		
固定資産処分損	111	121
減損損失	12	—
投資有価証券売却損	17	—
ゴルフ会員権評価損	4	—
事業整理損	20	—
特別損失合計	166	121
税金等調整前四半期純利益	11,505	9,264
法人税、住民税及び事業税	4,513	3,547
法人税等調整額	△51	△27
法人税等合計	4,462	3,520
少数株主損益調整前四半期純利益	7,042	5,744
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△81	115
四半期純利益	7,124	5,628

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△81	115
少数株主損益調整前四半期純利益	7,042	5,744
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△154	463
繰延ヘッジ損益	1,362	3,623
為替換算調整勘定	△422	1,380
持分法適用会社に対する持分相当額	346	—
その他の包括利益合計	1,131	5,467
四半期包括利益	8,174	11,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,329	10,767
少数株主に係る四半期包括利益	△154	444

第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
売上高	47,336	46,511
売上原価	24,209	25,446
売上総利益	23,126	21,065
販売費及び一般管理費	20,581	18,760
営業利益	2,545	2,305
営業外収益		
受取利息	74	68
受取配当金	67	69
為替差益	57	84
その他	72	61
営業外収益合計	272	284
営業外費用		
支払利息	58	31
持分法による投資損失	6	6
その他	29	28
営業外費用合計	94	65
経常利益	2,723	2,523
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	6
受取補償金	3	—
段階取得に係る差益	—	393
特別利益合計	3	399
特別損失		
固定資産処分損	46	20
減損損失	12	—
投資有価証券売却損	1	—
事業整理損	19	—
特別損失合計	79	20
税金等調整前四半期純利益	2,646	2,902
法人税、住民税及び事業税	1,263	1,342
法人税等調整額	△32	△39
法人税等合計	1,231	1,302
少数株主損益調整前四半期純利益	1,415	1,599
少数株主損失(△)	△34	△34
四半期純利益	1,450	1,633

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損失(△)	△34	△34
少数株主損益調整前四半期純利益	1,415	1,599
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	132	338
繰延ヘッジ損益	1,731	2,887
為替換算調整勘定	58	15
その他の包括利益合計	1,921	3,241
四半期包括利益	3,337	4,841
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,361	4,864
少数株主に係る四半期包括利益	△23	△23

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,505	9,264
減価償却費	3,942	3,827
のれん償却額	530	613
負ののれん発生益	△214	—
受取利息及び受取配当金	△459	△401
支払利息	198	110
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△886	△1,234
その他の引当金の増減額 (△は減少)	319	284
持分法による投資損益 (△は益)	△34	△52
有価証券売却損益 (△は益)	16	△679
固定資産除売却損益 (△は益)	△209	△202
受取補償金	△494	—
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	△393
売上債権の増減額 (△は増加)	91	415
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,625	△3,526
未収入金の増減額 (△は増加)	△716	312
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,953	1,332
未払金の増減額 (△は減少)	△1,022	△1,635
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△465	△533
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	169	499
その他の増減額 (△は減少)	△91	△35
小計	13,507	7,965
利息及び配当金の受取額	471	353
利息の支払額	△195	△94
補償金の受取額	494	—
法人税等の支払額	△5,539	△4,322
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,739	3,901
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,000	△11,804
定期預金の払戻による収入	20,050	9,000
有価証券の取得による支出	△311	△1,101
有価証券の売却及び償還による収入	2,305	1,632
固定資産の取得による支出	△5,602	△5,939
固定資産の売却による収入	390	331
貸付けによる支出	△450	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	36	—
連結範囲の変更を伴う子会社株式及び出資金の取得による支出	—	△2,808
関係会社株式の取得による支出	—	△301
その他の増加額	113	85
その他の減少額	△166	△117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,633	△11,024

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	10,483	3,657
長期借入による収入	9,599	8,728
長期借入金の返済による支出	△8,807	△1,069
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△187	△144
少数株主からの払込みによる収入	296	474
配当金の支払額	△1,762	△1,986
少数株主への配当金の支払額	△40	△45
自己株式の取得による支出	△0	△376
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,579	9,235
現金及び現金同等物に係る換算差額	18	378
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	14,703	2,491
現金及び現金同等物の期首残高	17,549	24,316
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,252	26,808

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、国内外で食品の生産、製造、仕入及び販売をしております。

国内においては、「飲料」、「食品」、「ギフト」、「生鮮野菜」、「通販」の5つと、「業務用」、「その他」の2つを合わせた7つを報告セグメントとしております。

海外においては、生産・販売体制を基礎とした地域別セグメントから構成されており、トマト製品に関連する「グローバルトマト事業」における「米国」、「欧州」、「豪州」の3つと「アジア」を合わせた4つを報告セグメントとしております。

なお、国内事業は製品の種類により分化しており、各セグメントの補足は以下の通りです。

「飲料」は、野菜飲料、フルーツ飲料、乳酸菌などが対象となります。

「食品」は、調味料、調理食品が対象となります。

「ギフト」は、主として飲料のギフトが対象となります。

「生鮮野菜」は、各菜園での生鮮トマトの生産とその販売を行っており、社内カンパニーである農カンパニーが、事業を統括しております。

「通販」は、通販専用の飲料やサプリメントなどを自社で通信販売しており、社内カンパニーである通販事業カンパニーが、事業を統括しております。

「業務用」は、主として外食産業や食品メーカー向けの調味料、素材、飲料などが対象となります。

「その他」は、不動産事業、物流事業、農業資材販売事業などが対象となります。

海外事業においては、各地域で包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

「米国」においては、KAGOME INC. が主に外食向け調味料の製造、販売を行っております。

「欧州」においては、イタリアでVegitalia S.p.A. が冷凍野菜の製造、販売を、ポルトガルでHolding da Industria Transformadora do Tomate, SGPS S.A. がトマト加工品の製造、販売を行っております。

「豪州」においては、Kagome Australia Pty Ltd. が生トマトの生産、加工、販売を行っております。

「米国」、「欧州」、「豪州」については、社内カンパニーであるトマト事業カンパニーが、事業を統括しております。

「アジア」においては、主として台湾で台湾可果美股份有限公司が調味料及び飲料の製造、販売を、中国で可果美(杭州)食品有限公司が飲料の製造、販売を、タイでOSOTSPA KAGOME CO., LTD. が飲料の商品開発、販売を行っております。

「アジア」については、社内カンパニーであるアジア事業カンパニーが、事業を統括しております。

第1四半期連結会計期間より、当社グループの組織変更に伴い、セグメント名称の一部及び報告セグメント区分の一部を変更いたしました。

国内においては、従来、一般の消費者を対象とした「コンシューマー事業」における「飲料」、「食品」、「ギフト」、「生鮮野菜」、「メディア通販」の5つと、「業務用事業」、「その他」の2つを合わせた7つを報告セグメントとしておりましたが、「飲料」、「食品」、「ギフト」、「生鮮野菜」、「通販」の5つと、「業務用」、「その他」の2つを合わせた7つを報告セグメントとしております。

また、海外においては、従来、「米国」、「欧州」、「アジア」、「豪州」の4つを報告セグメントとしておりましたが、トマト製品に関連する「グローバルトマト事業」における「米国」、「欧州」、「豪州」の3つと「アジア」を合わせた4つを報告セグメントとしております。

なお、前第3四半期連結累計期間及び前第3四半期連結会計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	国内事業							
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計
売上高								
外部顧客に対する売上高	74,977	20,977	7,721	7,053	6,106	19,610	1,377	137,825
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	9,440	9,440
計	74,977	20,977	7,721	7,053	6,106	19,610	10,817	147,265
セグメント利益又は損失(△)	5,123	1,824	609	691	509	1,543	183	10,485

(単位:百万円)

	海外事業						調整額	四半期 連結 財務諸表 計上額
	グローバルトマト事業				アジア	計		
	米国	欧州	豪州	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	7,800	2,923	2,906	13,629	1,758	15,388	—	153,213
セグメント間の内部 売上高又は振替高	391	719	—	1,110	52	1,163	△10,604	—
計	8,191	3,642	2,906	14,740	1,811	16,551	△10,604	153,213
セグメント利益又は損失(△)	354	△337	△295	△277	△158	△436	—	10,048

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(単位:百万円)

	国内事業							
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計
売上高								
外部顧客に対する売上高	68,859	17,483	8,075	7,651	6,644	19,920	1,330	129,966
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	10,419	10,419
計	68,859	17,483	8,075	7,651	6,644	19,920	11,750	140,385
セグメント利益又は損失(△)	3,404	770	523	664	374	1,104	332	7,174

(単位:百万円)

	海外事業						調整額	四半期 連結 財務諸表 計上額
	グローバルトマト事業				アジア	計		
	米国	欧州	豪州	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	10,114	5,274	2,583	17,972	2,308	20,280	—	150,246
セグメント間の内部 売上高又は振替高	477	2,233	121	2,832	144	2,976	△13,396	—
計	10,591	7,507	2,704	20,804	2,452	23,256	△13,396	150,246
セグメント利益又は損失(△)	485	39	△288	236	△85	151	—	7,326

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

前第3四半期連結会計期間(自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	国内事業							
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計
売上高								
外部顧客に対する売上高	21,724	7,318	2,292	1,847	2,070	6,814	464	42,532
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	2,805	2,805
計	21,724	7,318	2,292	1,847	2,070	6,814	3,270	45,338
セグメント利益又は損失(△)	1,027	659	309	△94	266	449	52	2,670

(単位:百万円)

	海外事業						調整額	四半期 連結 財務諸表 計上額
	グローバルトマト事業				アジア	計		
	米国	欧州	豪州	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	2,488	1,204	515	4,208	596	4,804	—	47,336
セグメント間の内部 売上高又は振替高	365	224	—	589	24	614	△3,420	—
計	2,853	1,428	515	4,797	620	5,418	△3,420	47,336
セグメント利益又は損失(△)	91	△38	△134	△82	△43	△125	—	2,545

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結会計期間(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

(単位:百万円)

	国内事業							
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計
売上高								
外部顧客に対する売上高	19,620	5,902	2,420	2,072	2,210	6,799	397	39,423
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	3,320	3,320
計	19,620	5,902	2,420	2,072	2,210	6,799	3,718	42,744
セグメント利益又は損失(△)	774	383	391	20	334	439	67	2,411

(単位:百万円)

	海外事業						調整額	四半期 連結 財務諸表 計上額
	グローバルトマト事業				アジア	計		
	米国	欧州	豪州	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	3,574	1,813	777	6,165	923	7,088	—	46,511
セグメント間の内部 売上高又は振替高	525	550	121	1,197	37	1,234	△4,555	—
計	4,100	2,363	898	7,362	960	8,322	△4,555	46,511
セグメント利益又は損失(△)	146	△1	△227	△83	△23	△106	—	2,305

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更による影響額)

有形固定資産の減価償却方法の変更

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載の通り、従来、当社及び一部の国内連結子会社は有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法について主として定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法へ変更しております。

この変更によるセグメント利益に与える影響は次の通りであります。

(単位:百万円)

	国内事業							
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計
セグメント利益	399	59	21	3	13	141	38	676

(単位:百万円)

	海外事業						調整額	四半期 連結 財務諸表 計上額
	グローバルトマト事業				アジア	計		
	米国	欧州	豪州	計				
セグメント利益	—	—	—	—	—	—	—	676

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

(減損損失)

減損損失に関する報告セグメント別情報

(単位:百万円)

	国内事業							
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計
当四半期発生額	—	—	—	—	—	—	—	—

(単位:百万円)

	海外事業						調整額	四半期 連結 財務諸表 計上額
	グローバルトマト事業				アジア	計		
	米国	欧州 (注)	豪州	計				
当四半期発生額	—	12	—	12	—	12	—	12

(注) Holding da Industria Transformadora do Tomate, SGPS S.A.に係る遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

(のれん)

のれんに関する報告セグメント別情報

(単位:百万円)

	国内事業							
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計
当四半期償却額	—	—	—	—	—	—	—	—
当四半期末残高	—	—	—	—	—	—	—	—

(単位:百万円)

	海外事業						調整額	四半期 連結 財務諸表 計上額
	グローバルトマト事業				アジア	計		
	米国	欧州 (注)	豪州 (注)	計				
当四半期償却額	—	—	530	530	—	530	—	530
当四半期末残高	—	—	1,978	1,978	—	1,978	—	1,978

(注) オーストラリア最大手の生トマト加工・販売メーカーであるセデンコ・オーストラリア社(現Kagome Foods Australia Pty Ltd.)及び同社に供給するトマトを栽培するSSファームズ社(現Kagome Farms Australia Pty Ltd.)の事業譲受けに伴い発生したものであります。

(負ののれん発生益)

負ののれん発生益に関する報告セグメント別情報

(単位：百万円)

	国内事業							
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計
当四半期発生額	—	—	—	—	—	—	—	—

(単位：百万円)

	海外事業						調整額	四半期 連結 財務諸表 計上額
	グローバルトマト事業				アジア	計		
	米国	欧州 (注)	豪州	計				
当四半期発生額	—	214	—	214	—	214	—	214

(注) 持分法適用関連会社であったHolding da Industria Transformadora do Tomate, SGPS S. A. の株式を追加取得し連結子会社としたことに伴い発生したものであります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(減損損失)

当該事項はありません。

(のれん)

のれんに関する報告セグメント別情報

(単位：百万円)

	国内事業							
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計
当四半期償却額	—	—	—	—	—	—	—	—
当四半期末残高	—	—	—	—	—	—	—	—

(単位：百万円)

	海外事業						調整額	四半期 連結 財務諸表 計上額
	グローバルトマト事業				アジア	計		
	米国 (注1)	欧州 (注2)	豪州 (注3)	計				
当四半期償却額	—	—	613	613	—	613	—	613
当四半期末残高	1,697	1,036	1,432	4,166	—	4,166	—	4,166

(注) 1 United Genetics Holding LLCへの出資に伴い発生したものであります。

2 Tat Tohumculuk A.S.の株式を追加取得したことに伴い発生したものであります。

3 オーストラリア最大手の生トマト加工・販売メーカーであるセデンコ・オーストラリア社(現Kagome Foods Australia Pty Ltd.)及び同社に供給するトマトを栽培するSSファームズ社(現Kagome Farms Australia Pty Ltd.)の事業譲受けに伴い発生したものであります。

(負ののれん発生益)

該当事項はありません。

前第3四半期連結会計期間(自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)

(減損損失)

減損損失に関する報告セグメント別情報

(単位：百万円)

	国内事業							
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計
当四半期発生額	—	—	—	—	—	—	—	—

(単位：百万円)

	海外事業						調整額	四半期 連結 財務諸表 計上額
	グローバルトマト事業				アジア	計		
	米国	欧州 (注)	豪州	計				
当四半期発生額	—	12	—	12	—	12	—	12

(注) Holding da Industria Transformadora do Tomate, SGPS S.A.に係る遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

(のれん)

のれんに関する報告セグメント別情報

(単位：百万円)

	国内事業							
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計
当四半期償却額	—	—	—	—	—	—	—	—
当四半期末残高	—	—	—	—	—	—	—	—

(単位：百万円)

	海外事業						調整額	四半期 連結 財務諸表 計上額
	グローバルトマト事業				アジア	計		
	米国	欧州 (注)	豪州 (注)	計				
当四半期償却額	—	—	175	175	—	175	—	175
当四半期末残高	—	—	1,978	1,978	—	1,978	—	1,978

(注) オーストラリア最大手の生トマト加工・販売メーカーであるセデンコ・オーストラリア社(現Kagome Foods Australia Pty Ltd.)及び同社に供給するトマトを栽培するSSファームズ社(現Kagome Farms Australia Pty Ltd.)の事業譲受けに伴い発生したものであります。

当第3四半期連結会計期間(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

(減損損失)

該当事項はありません。

(のれん)

のれんに関する報告セグメント別情報

(単位：百万円)

	国内事業							
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計
当四半期償却額	—	—	—	—	—	—	—	—
当四半期末残高	—	—	—	—	—	—	—	—

(単位：百万円)

	海外事業						調整額	四半期 連結 財務諸表 計上額
	グローバルトマト事業				アジア	計		
	米国 (注1)	欧州 (注2)	豪州 (注3)	計				
当四半期償却額	—	—	195	195	—	195	—	195
当四半期末残高	1,697	1,036	1,432	4,166	—	4,166	—	4,166

(注) 1 United Genetics Holding LLCへの出資に伴い発生したものであります。

2 Tat Tohumculuk A.S.の株式を追加取得したことに伴い発生したものであります。

3 オーストラリア最大手の生トマト加工・販売メーカーであるセデンコ・オーストラリア社(現Kagome Foods Australia Pty Ltd.)及び同社に供給するトマトを栽培するSSファームズ社(現Kagome Farms Australia Pty Ltd.)の事業譲受けに伴い発生したものであります。

4. その他

役員の変動(平成26年1月1日付)

1. 役員の変動

変動

(氏名)	(新役職)	(旧役職)
にし ひでのり 西 秀 訓	代表取締役会長	代表取締役社長
てらだ なおゆき 寺 田 直 行	代表取締役社長	代表取締役専務執行役員 コンシューマー事業本部長 兼 営業管掌

2. 執行役員の変動

昇任

(氏名)	(新役職)	(旧役職)
こばやし ひろひさ 小 林 寛 久	執行役員コンシューマー事業本部長	コンシューマー事業本部 マーケティング部長
すぎやま きくお 杉 山 喜 久 雄	執行役員可果美(杭州)食品有限公司 董事長	可果美(杭州)食品有限公司董事長

5. (参考) ハイライト情報

(1) 主要な経営指標の推移

【連結経営指標等】

決算年月		平成24年12月	平成25年12月	平成24年3月	平成25年3月	平成26年3月 予想
会計期間		自 平成24年 4月1日 至 平成24年 12月31日	自 平成25年 4月1日 至 平成25年 12月31日	自 平成23年 4月1日 至 平成24年 3月31日	自 平成24年 4月1日 至 平成25年 3月31日	自 平成25年 4月1日 至 平成26年 3月31日
売上高(注1)	(百万円)	153,213	150,246	180,047	196,233	195,000
売上高伸び率	(%)	10.5	△1.9	△0.7	9.0	△0.6
営業利益	(百万円)	10,048	7,326	8,466	9,278	6,800
売上高営業利益率	(%)	6.6	4.9	4.7	4.7	3.5
経常利益	(百万円)	10,592	7,991	9,213	10,025	7,200
売上高経常利益率	(%)	6.9	5.3	5.1	5.1	3.7
税金等調整前四半期(当期)純利益	(百万円)	11,505	9,264	6,505	10,539	7,900
売上高税金等調整前四半期(当期)純利益率	(%)	7.5	6.2	3.6	5.4	4.1
四半期(当期)純利益	(百万円)	7,124	5,628	4,217	6,480	4,700
売上高四半期(当期)純利益率	(%)	4.6	3.7	2.3	3.3	2.4
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	71.63	56.62	42.40	65.15	47.26
自己資本四半期(当期)純利益率	(%)	7.5	5.3	4.7	6.7	—
総資産経常利益率	(%)	6.6	4.4	6.3	6.3	—
総資産	(百万円)	174,012	194,232	148,207	168,965	—
純資産	(百万円)	100,625	114,476	92,815	104,432	—
自己資本比率	(%)	56.4	56.8	61.8	60.1	—
1株当たり純資産	(円)	986.55	1,110.75	920.81	1,020.86	—
四半期末(期末)株価	(円)	1,651	1,721	1,620	1,785	—
株価収益率	(倍)	23.0	30.4	38.2	27.4	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	8,739	3,901	11,757	7,407	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△3,633	△11,024	△4,985	△1,781	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	9,579	9,235	△1,861	1,050	—
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	(百万円)	32,252	26,808	17,549	24,316	—
従業員数	(名)	2,324	2,381	2,101	2,209	2,400
〔外、平均臨時雇用者数〕		〔1,581〕	〔1,629〕	〔1,468〕	〔1,561〕	
固定投資額	(百万円)	7,215	4,778	4,762	9,269	7,000
〔うち有形固定資産〕		〔6,255〕	〔4,556〕	〔3,482〕	〔8,134〕	〔6,400〕
減価償却費	(百万円)	3,942	3,827	5,372	5,453	4,900
〔うち有形固定資産〕		〔3,461〕	〔3,183〕	〔4,776〕	〔4,774〕	〔4,000〕
研究開発費	(百万円)	2,125	2,221	2,655	3,009	3,000
広告宣伝費	(百万円)	5,280	5,454	6,122	7,053	7,000
期中米ドル決済レート(注2)	(円)	83.4	93.6	88.4	84.1	—

(注) 1. 売上高に消費税等は含まれておりません。

2. 当社の決済レートを記載しております。

(2) 主な当社グループの状況及び業績

名称及び事業内容	資本金 及び 決算期	議決権の 所有割合		前第3四半期 累計期間 (百万円)	当第3四半期 累計期間 (百万円)	増減率 (%)
----------	------------------	--------------	--	-------------------------	-------------------------	------------

当社

カゴメ(株) 食品製造販売業	19,985百万円 3月	—	売上高	135,898	128,259	△5.6
			営業利益	10,462	6,668	△36.3
			四半期純利益	7,018	5,123	△27.0
			総資産	156,146	173,621	+11.2
			純資産	98,292	106,933	+8.8

連結子会社

加太菜園(株) 農産物の生産・販売 (注1)	90百万円 12月	70.00%	売上高	549	639	+16.4
			営業利益	31	74	+136.6
			四半期純利益	27	74	+166.4
			総資産	1,379	1,297	△6.0
			純資産	△434	△352	—
響灘菜園(株) 農産物の生産・販売 (注1)	50百万円 12月	66.00%	売上高	862	871	+1.0
			営業利益	△4	8	—
			四半期純利益	△7	8	—
			総資産	1,661	1,471	△11.4
			純資産	△1,065	△1,066	—
いわき小名浜菜園(株) 農産物の生産・販売 (注1)	10百万円 12月	49.00%	売上高	967	1,280	+32.3
			営業利益	△70	164	—
			四半期純利益	421	210	△50.0
			総資産	1,760	1,782	+1.3
			純資産	△1,734	△1,532	—
カゴメ不動産(株) 不動産業	98百万円 2月	100%	売上高	618	626	+1.2
			営業利益	71	118	+67.2
			四半期純利益	38	70	+81.8
			総資産	5,818	6,382	+9.7
			純資産	2,606	2,685	+3.0
カゴメ物流サービス(株) 物流業・倉庫業	80百万円 2月	100%	売上高	10,235	11,057	+8.0
			営業利益	57	244	+323.1
			四半期純利益	33	114	+242.8
			総資産	3,652	3,882	+6.3
			純資産	2,241	2,305	+2.8
KAGOME INC. 食品製造販売業 (注2)	33百万 米ドル 12月	100%	売上高	8,191 [103,206千米ドル]	10,591 [109,520千米ドル]	+29.3 [+6.1]
			営業利益	393 [4,958千米ドル]	568 [5,881千米ドル]	+44.5 [+18.6]
			四半期純利益	241 [3,042千米ドル]	347 [3,589千米ドル]	+43.7 [+18.0]
			総資産	4,808 [61,969千米ドル]	6,921 [70,808千米ドル]	+43.9 [+14.3]
			純資産	3,469 [44,706千米ドル]	4,888 [50,006千米ドル]	+40.9 [+11.9]
Vegitalia S.p.A. 食品製造販売業	10百万 ユーロ 12月	100%	売上高	1,167 [11,473千ユーロ]	1,651 [12,965千ユーロ]	+41.4 [+13.0]
			営業利益	△298 [△2,930千ユーロ]	△299 [△2,348千ユーロ]	— [—]
			四半期純利益	△335 [△3,296千ユーロ]	△304 [△2,392千ユーロ]	— [—]
			総資産	1,842 [18,377千ユーロ]	2,876 [21,811千ユーロ]	+56.1 [+18.7]
			純資産	△285 [△2,851千ユーロ]	363 [2,756千ユーロ]	— [—]

カゴメ(株)(2811) 平成26年3月期 第3四半期決算短信

名称及び事業内容	資本金及び決算期	議決権の所有割合		前第3四半期累計期間(百万円)	当第3四半期累計期間(百万円)	増減率(%)
Holding da Industria Transformadora do Tomate, SGPS S. A. 食品製造販売業 (注3)	550千ユーロ 12月	55.51%	売上高	4,049 [39,803千ユーロ]	5,856 [45,988千ユーロ]	+44.6 [+15.5]
			営業利益	△52 [△512千ユーロ]	349 [2,747千ユーロ]	— [—]
			四半期純利益	△196 [△1,928千ユーロ]	181 [1,426千ユーロ]	— [—]
			総資産	10,914 [108,884千ユーロ]	16,321 [123,768千ユーロ]	+49.5 [+13.7]
			純資産	2,318 [23,125千ユーロ]	3,431 [26,024千ユーロ]	+48.0 [+12.5]
Kagome Australia Pty Ltd. 食品製造販売業 (注4)	98百万豪ドル 12月	100%	売上高	2,906 [35,393千豪ドル]	2,704 [28,525千豪ドル]	△6.9 [△19.4]
			営業利益	△284 [△3,469千豪ドル]	△250 [△2,645千豪ドル]	— [—]
			四半期純利益	△260 [△3,167千豪ドル]	△249 [△2,634千豪ドル]	— [—]
			総資産	6,514 [80,306千豪ドル]	7,925 [87,216千豪ドル]	+21.7 [+8.6]
			純資産	6,222 [76,710千豪ドル]	6,465 [71,147千豪ドル]	+3.9 [△7.3]
台湾可果美股份有限公司 食品製造販売業	316百万台湾ドル 12月	50.40%	売上高	1,399 [523百万台湾ドル]	1,821 [559百万台湾ドル]	+30.1 [+6.8]
			営業利益	100 [37百万台湾ドル]	157 [48百万台湾ドル]	+56.4 [+28.3]
			四半期純利益	93 [34百万台湾ドル]	136 [42百万台湾ドル]	+46.6 [+20.3]
			総資産	2,085 [787百万台湾ドル]	2,679 [809百万台湾ドル]	+28.5 [+2.8]
			純資産	1,797 [678百万台湾ドル]	2,292 [692百万台湾ドル]	+27.5 [+2.0]
可果美(杭州)食品有限公司 食品製造販売業	32.1百万米ドル 12月	74.55%	売上高	390 [31百万円]	567 [36百万円]	+45.6 [+16.4]
			営業利益	△204 [△16百万円]	△162 [△10百万円]	— [—]
			四半期純利益	△201 [△16百万円]	△133 [△8百万円]	— [—]
			総資産	374 [30百万円]	286 [17百万円]	△23.6 [△41.5]
			純資産	23 [1百万円]	△170 [△10百万円]	— [—]
可果美餐飲管理(無錫)有限公司 オフィス給食事業	3百万米ドル 12月	70.00%	売上高	21 [1百万円]	41 [2百万円]	+90.9 [+52.7]
			営業利益	△51 [△4百万円]	△27 [△1百万円]	— [—]
			四半期純利益	△52 [△4百万円]	△28 [△1百万円]	— [—]
			総資産	243 [19百万円]	226 [14百万円]	△6.8 [△28.6]
			純資産	93 [7百万円]	36 [2百万円]	△60.5 [△69.7]
OSOTSPA KAGOME CO., LTD. 飲料の商品開発・販売業	150百万バーツ 12月	43.00%	売上高	— [—]	21 [6,850百万バーツ]	— [—]
			営業利益	— [—]	△53 [△16百万バーツ]	— [—]
			四半期純利益	— [—]	△52 [△16百万バーツ]	— [—]
			総資産	— [—]	457 [147百万バーツ]	— [—]
			純資産	— [—]	394 [126百万バーツ]	— [—]

カゴメ(株)(2811) 平成26年3月期 第3四半期決算短信

名称及び事業内容	資本金 及び 決算期	議決権の 所有割合		前第3四半期 累計期間 (百万円)	当第3四半期 累計期間 (百万円)	増減率 (%)
持分法適用会社 (関連会社)						
世羅菜園(株) 農産物の生産・販売 (注1)	85百万円 12月	47.06%	売上高	796	892	+12.0
			営業利益	131	184	+40.5
			四半期純利益	78	111	+42.4
			総資産	1,310	1,352	+3.2
			純資産	260	379	+45.6

- (注) 1. 前連結会計年度において、より適切に連結経営管理を行うため、加太菜園(株)、響灘菜園(株)、いわき小名浜菜園(株)及び世羅菜園(株)の決算日を2月末日から12月31日に変更いたしました。
これに伴い、上記各社の業績は、前第3四半期累計期間においては3月～11月の9ヶ月間、当第3四半期累計期間においては1月～9月の9ヶ月間となっております。
2. KAGOME INC. の業績は、同社子会社の内蒙古可果美食品有限公司及びKAGOME FOODS INC. を連結しております。
3. Holding da Industria Transformadora do Tomate, SGPS S.A. の業績は、同社子会社のIndustria de Transformacao de Produtos Alimentares, S.A. 及びFomento da Industria do Tomate, S.A. を連結しております。
4. Kagome Australia Pty Ltd. の業績は、同社子会社のKagome Foods Australia Pty Ltd. 及びKagome Farms Australia Pty Ltd. を連結しております。

(3) 販売費及び一般管理費明細

(単位：百万円、%)

期 別 科 目	前第3四半期 連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)		増減		前連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
販 売 手 数 料	3,636	2.4	3,629	2.4	△ 6	△ 0.2	4,795	2.4
販 売 促 進 費	28,921	18.9	23,725	15.8	△ 5,196	△ 18.0	37,751	19.2
広 告 宣 伝 費	5,280	3.4	5,454	3.6	174	3.3	7,053	3.6
運 賃 ・ 保 管 料	7,854	5.1	8,426	5.6	572	7.3	10,147	5.2
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	29	0.0	15	0.0	△ 14	△ 48.4	45	0.0
人 件 費	11,580	7.6	11,939	7.9	358	3.1	15,584	7.9
減 価 償 却 費	1,185	0.8	1,138	0.8	△ 47	△ 4.0	1,656	0.8
の れ ん 償 却 費	530	0.3	613	0.4	82	15.5	712	0.4
そ の 他	7,171	4.7	7,751	5.2	579	8.1	9,651	4.9
合 計	66,189	43.2	62,692	41.7	△ 3,497	△ 5.3	87,398	44.6

(注) 百分比は、売上高に対する割合です。

(4) 売上原価に含まれるたな卸資産廃棄損及び評価損明細

(単位：百万円)

期 別 科 目	前第3四半期 連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月30日)	当第3四半期 連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月30日)	前連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)
商 品 及 び 製 品	91	100	105
原 材 料	77	59	151
輸 入 雑 損 失 等	61	145	110
合 計	231	305	367

(5) 四半期損益情報

(単位：百万円)

前連結会計年度	第1四半期 連結会計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	第2四半期 連結会計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	第3四半期 連結会計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	第4四半期 連結会計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	通期 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)
売上高	51,491	54,384	47,336	43,020	196,233
(対前年同期増減率)	(18.2%)	(7.1%)	(6.9%)	(3.8%)	(9.0%)
営業利益	4,225	3,278	2,545	△770	9,278
(対売上高比率)	(8.2%)	(6.0%)	(5.4%)	(△1.8%)	(4.7%)
経常利益	4,487	3,381	2,723	△567	10,025
(対売上高比率)	(8.7%)	(6.2%)	(5.8%)	(△1.3%)	(5.1%)
税金等調整前四半期(当期)純利益	5,368	3,490	2,646	△965	10,539
(対売上高比率)	(10.4%)	(6.4%)	(5.6%)	(△2.2%)	(5.4%)
四半期(当期)純利益	3,525	2,148	1,450	△644	6,480
(対売上高比率)	(6.8%)	(4.0%)	(3.1%)	(△1.5%)	(3.3%)

(単位：百万円)

当連結会計年度	第1四半期 連結会計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	第2四半期 連結会計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	第3四半期 連結会計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	(※)第4四半期 連結会計期間予想 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	通期予想 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)
売上高	50,843	52,890	46,511	44,753	195,000
(対前年同期増減率)	(△1.3%)	(△2.7%)	(△1.7%)	(4.0%)	(△0.6%)
営業利益	2,184	2,836	2,305	△526	6,800
(対売上高比率)	(4.3%)	(5.4%)	(5.0%)	(△1.2%)	(3.5%)
経常利益	2,473	2,994	2,523	△791	7,200
(対売上高比率)	(4.9%)	(5.7%)	(5.4%)	(△1.8%)	(3.7%)
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,775	3,586	2,902	△1,364	7,900
(対売上高比率)	(5.5%)	(6.8%)	(6.2%)	(△3.0%)	(4.1%)
四半期(当期)純利益	1,692	2,301	1,633	△928	4,700
(対売上高比率)	(3.3%)	(4.4%)	(3.5%)	(△2.1%)	(2.4%)

(※) 第4四半期連結会計期間予想は、公表している通期予想から第3四半期連結累計期間実績を差し引いた数値であります。

(6) セグメント売上高及びセグメント利益

〈第1四半期連結会計期間〉

平成25年3月期第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日～平成24年6月30日) - 実績

(単位: 百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額	
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計				
									米国	欧州	豪州	計						
売上高																		
外部顧客に対する売上高	25,768	6,971	2,362	2,986	1,709	6,225	491	46,515	2,716	222	1,489	4,427	548	4,976	51,491	-		51,491
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	3,099	3,099	15	127	-	142	11	154	3,254	△ 3,254		-
計	25,768	6,971	2,362	2,986	1,709	6,225	3,591	49,614	2,731	349	1,489	4,570	560	5,131	54,745	△ 3,254		51,491
構成比(%)	47.1	12.7	4.3	5.5	3.1	11.4	6.6	90.7	5.0	0.6	2.7	8.3	1.0	9.3	100.0	-		-
営業利益又は損失(△)	1,893	570	668	588	△ 38	533	28	4,244	156	△ 101	△ 27	27	△ 46	△ 18	-	-		4,225
売上高営業利益率(%)	7.3	8.2	28.3	19.7	△ 2.2	8.6	0.8	8.6	5.7	△ 29.1	△ 1.9	0.6	△ 8.2	△ 0.4	-	-		8.2

平成26年3月期第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日～平成25年6月30日) - 実績

(単位: 百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額	
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計				
									米国	欧州	豪州	計						
売上高																		
外部顧客に対する売上高	24,255	5,894	2,618	2,966	1,796	6,402	533	44,467	3,064	1,787	887	5,739	636	6,375	50,843	-		50,843
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	3,407	3,407	22	861	4	887	28	916	4,323	△ 4,323		-
計	24,255	5,894	2,618	2,966	1,796	6,402	3,940	47,875	3,086	2,649	891	6,626	664	7,291	55,166	△ 4,323		50,843
構成比(%)	44.0	10.7	4.7	5.4	3.3	11.6	7.1	86.8	5.6	4.8	1.6	12.0	1.2	13.2	100.0	-		-
営業利益又は損失(△)	1,244	20	762	△ 159	△ 372	409	135	2,040	189	△ 43	20	166	△ 22	144	-	-		2,184
売上高営業利益率(%)	5.1	0.3	29.1	△ 5.4	△ 20.7	6.4	3.4	4.3	6.1	△ 1.6	2.3	2.5	△ 3.3	2.0	-	-		4.3

第1四半期連結会計期間 - 増減

(単位: 百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額	
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計				
									米国	欧州	豪州	計						
売上高																		
外部顧客に対する売上高	△ 1,512	△ 1,077	256	△ 20	87	177	41	△ 2,047	347	1,565	△ 601	1,311	87	1,399	△ 648	-		△ 648
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	307	307	6	734	4	745	16	761	1,069	△ 1,069		-
計	△ 1,512	△ 1,077	256	△ 20	87	177	349	△ 1,739	354	2,299	△ 597	2,056	103	2,160	420	△ 1,069		△ 648
増減率(%)	△ 5.9	△ 15.5	10.9	△ 0.7	5.1	2.9	9.7	△ 3.5	13.0	658.1	△ 40.1	45.0	18.5	42.1	0.8	-		△ 1.3
営業利益又は損失(△)	△ 648	△ 549	94	△ 748	△ 334	△ 124	107	△ 2,203	32	57	48	138	24	162	-	-		△ 2,040

<第2四半期連結会計期間>

平成25年3月期第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日～平成24年9月30日) - 実績

(単位:百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計			
									米国	欧州	豪州	計					
売上高																	
外部顧客に対する売上高	27,485	6,687	3,066	2,219	2,326	6,570	421	48,777	2,595	1,497	901	4,993	613	5,607	54,384	-	54,384
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	3,534	3,534	11	367	-	378	16	394	3,929	△ 3,929	-
計	27,485	6,687	3,066	2,219	2,326	6,570	3,956	52,311	2,606	1,864	901	5,372	629	6,002	58,314	△ 3,929	54,384
構成比(%)	47.1	11.5	5.3	3.8	4.0	11.2	6.8	89.7	4.5	3.2	1.5	9.2	1.1	10.3	100.0	-	-
営業利益又は損失(△)	2,202	594	△ 368	198	281	559	103	3,570	106	△ 196	△ 133	△ 223	△ 69	△ 292	-	-	3,278
売上高営業利益率(%)	8.0	8.9	△ 12.0	8.9	12.1	8.5	2.6	6.8	4.1	△ 10.6	△ 14.8	△ 4.2	△ 11.0	△ 4.9	-	-	6.0

平成26年3月期第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日～平成25年9月30日) - 実績

(単位:百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計			
									米国	欧州	豪州	計					
売上高																	
外部顧客に対する売上高	24,983	5,687	3,035	2,612	2,636	6,718	400	46,074	3,475	1,673	918	6,067	748	6,816	52,890	-	52,890
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	3,691	3,691	△ 70	821	△ 4	746	79	826	4,517	△ 4,517	-
計	24,983	5,687	3,035	2,612	2,636	6,718	4,091	49,766	3,405	2,494	914	6,814	827	7,642	57,408	△ 4,517	52,890
構成比(%)	43.5	9.9	5.3	4.6	4.6	11.7	7.1	86.7	6.0	4.3	1.6	11.9	1.4	13.3	100.0	-	-
営業利益又は損失(△)	1,385	366	△ 631	803	411	255	129	2,721	149	85	△ 80	153	△ 39	114	-	-	2,836
売上高営業利益率(%)	5.5	6.4	△ 20.8	30.8	15.6	3.8	3.2	5.5	4.4	3.4	△ 8.8	2.3	△ 4.8	1.5	-	-	5.4

第2四半期連結会計期間 - 増減

(単位:百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計			
									米国	欧州	豪州	計					
売上高																	
外部顧客に対する売上高	△ 2,502	△ 1,000	△ 30	393	310	147	△ 21	△ 2,702	880	176	17	1,073	135	1,208	△ 1,493	-	△ 1,493
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	157	157	△ 81	453	△ 4	368	63	431	588	△ 588	-
計	△ 2,502	△ 1,000	△ 30	393	310	147	135	△ 2,545	799	629	12	1,442	198	1,640	△ 905	△ 588	△ 1,493
増減率(%)	△ 9.1	△ 15.0	△ 1.0	17.7	13.3	2.3	3.4	△ 4.9	30.7	33.8	1.4	26.8	31.5	27.3	△ 1.6	-	△ 2.7
営業利益又は損失(△)	△ 816	△ 228	△ 263	605	130	△ 304	26	△ 848	42	282	52	376	29	406	-	-	△ 441

<第3四半期連結会計期間>

平成25年3月期第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日～平成24年12月31日) - 実績

(単位:百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額	
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計				
									米国	欧州	豪州	計						
売上高																		
外部顧客に対する売上高	21,724	7,318	2,292	1,847	2,070	6,814	464	42,532	2,488	1,204	515	4,208	596	4,804	47,336	-	47,336	
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	2,805	2,805	365	224	-	589	24	614	3,420	△ 3,420	-	
計	21,724	7,318	2,292	1,847	2,070	6,814	3,270	45,338	2,853	1,428	515	4,797	620	5,418	50,757	△ 3,420	47,336	
構成比(%)	42.8	14.4	4.5	3.7	4.1	13.4	6.4	89.3	5.7	2.8	1.0	9.5	1.2	10.7	100.0	-	-	
営業利益又は損失(△)	1,027	659	309	△ 94	266	449	52	2,670	91	△ 38	△ 134	△ 82	△ 43	△ 125	-	-	2,545	
売上高営業利益率(%)	4.7	9.0	13.5	△ 5.1	12.9	6.6	1.6	5.9	3.2	△ 2.7	△ 26.1	△ 1.7	△ 7.0	△ 2.3	-	-	5.4	

平成26年3月期第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日～平成25年12月31日) - 実績

(単位:百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額	
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計				
									米国	欧州	豪州	計						
売上高																		
外部顧客に対する売上高	19,620	5,902	2,420	2,072	2,210	6,799	397	39,423	3,574	1,813	777	6,165	923	7,088	46,511	-	46,511	
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	3,320	3,320	525	550	121	1,197	37	1,234	4,555	△ 4,555	-	
計	19,620	5,902	2,420	2,072	2,210	6,799	3,718	42,744	4,100	2,363	898	7,362	960	8,322	51,067	△ 4,555	46,511	
構成比(%)	38.4	11.6	4.7	4.1	4.3	13.3	7.3	83.7	8.0	4.6	1.8	14.4	1.9	16.3	100.0	-	-	
営業利益又は損失(△)	774	383	391	20	334	439	67	2,411	146	△ 1	△ 227	△ 83	△ 23	△ 106	-	-	2,305	
売上高営業利益率(%)	3.9	6.5	16.2	1.0	15.1	6.5	1.8	5.6	3.6	△ 0.1	△ 25.4	△ 1.1	△ 2.4	△ 1.3	-	-	5.0	

第3四半期連結会計期間 - 増減

(単位:百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額	
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計				
									米国	欧州	豪州	計						
売上高																		
外部顧客に対する売上高	△ 2,103	△ 1,415	127	225	140	△ 15	△ 66	△ 3,109	1,085	609	262	1,957	327	2,284	△ 824	-	△ 824	
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	514	514	160	325	121	607	12	620	1,134	△ 1,134	-	
計	△ 2,103	△ 1,415	127	225	140	△ 15	447	△ 2,594	1,246	935	383	2,564	339	2,904	309	△ 1,134	△ 824	
増減率(%)	△ 9.7	△ 19.3	5.6	12.2	6.8	△ 0.2	13.7	△ 5.7	43.7	65.5	74.3	53.5	54.6	53.6	0.6	-	△ 1.7	
営業利益又は損失(△)	△ 253	△ 275	82	115	67	△ 9	14	△ 259	55	36	△ 93	△ 0	20	19	-	-	△ 239	

<第3四半期連結累計期間>

平成25年3月期第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年12月31日) - 実績

(単位:百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額	
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計				
									米国	欧州	豪州	計						
売上高																		
外部顧客に対する売上高	74,977	20,977	7,721	7,053	6,106	19,610	1,377	137,825	7,800	2,923	2,906	13,629	1,758	15,388	153,213	-	153,213	
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	9,440	9,440	391	719	-	1,110	52	1,163	10,604	△ 10,604	-	
計	74,977	20,977	7,721	7,053	6,106	19,610	10,817	147,265	8,191	3,642	2,906	14,740	1,811	16,551	163,817	△ 10,604	153,213	
構成比(%)	45.8	12.8	4.7	4.3	3.7	12.0	6.6	89.9	5.0	2.2	1.8	9.0	1.1	10.1	100.0	-	-	
営業利益又は損失(△)	5,123	1,824	609	691	509	1,543	183	10,485	354	△ 337	△ 295	△ 277	△ 158	△ 436	-	-	10,048	
売上高営業利益率(%)	6.8	8.7	7.9	9.8	8.3	7.9	1.7	7.1	4.3	△ 9.3	△ 10.2	△ 1.9	△ 8.8	△ 2.6	-	-	6.6	

平成26年3月期第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年12月31日) - 実績

(単位:百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額	
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計				
									米国	欧州	豪州	計						
売上高																		
外部顧客に対する売上高	68,859	17,483	8,075	7,651	6,644	19,920	1,330	129,966	10,114	5,274	2,583	17,972	2,308	20,280	150,246	-	150,246	
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	10,419	10,419	477	2,233	121	2,832	144	2,976	13,396	△ 13,396	-	
計	68,859	17,483	8,075	7,651	6,644	19,920	11,750	140,385	10,591	7,507	2,704	20,804	2,452	23,256	163,642	△ 13,396	150,246	
構成比(%)	42.0	10.7	4.9	4.7	4.1	12.2	7.2	85.8	6.4	4.6	1.7	12.7	1.5	14.2	100.0	-	-	
営業利益又は損失(△)	3,404	770	523	664	374	1,104	332	7,174	485	39	△ 288	236	△ 85	151	-	-	7,326	
売上高営業利益率(%)	4.9	4.4	6.5	8.7	5.6	5.5	2.8	5.1	4.6	0.5	△ 10.7	1.1	△ 3.5	0.7	-	-	4.9	

第3四半期連結累計期間 - 増減

(単位:百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額	
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計				
									米国	欧州	豪州	計						
売上高																		
外部顧客に対する売上高	△ 6,118	△ 3,493	353	598	537	309	△ 46	△ 7,859	2,313	2,351	△ 322	4,342	549	4,892	△ 2,967	-	△ 2,967	
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	979	979	86	1,513	121	1,721	91	1,812	2,792	△ 2,792	-	
計	△ 6,118	△ 3,493	353	598	537	309	932	△ 6,879	2,400	3,864	△ 201	6,063	641	6,704	△ 174	△ 2,792	△ 2,967	
増減率(%)	△ 8.2	△ 16.7	4.6	8.5	8.8	1.6	8.6	△ 4.7	29.3	106.1	△ 6.9	41.1	35.4	40.5	△ 0.1	-	△ 1.9	
営業利益又は損失(△)	△ 1,718	△ 1,054	△ 86	△ 26	△ 135	△ 438	148	△ 3,311	130	376	7	514	73	588	-	-	△ 2,722	

カゴメ(株)(2811) 平成26年3月期 第3四半期決算短信

<第4四半期連結会計期間>

平成25年3月期第4四半期連結会計期間(平成25年1月1日～平成25年3月31日) - 実績

(単位:百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計			
									米国	欧州	豪州	計					
売上高																	
外部顧客に対する売上高	21,115	6,574	208	1,878	1,594	5,434	462	37,267	2,806	1,540	852	5,198	553	5,752	43,020	-	43,020
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	2,480	2,480	765	675	8	1,448	27	1,476	3,956	△ 3,956	-
計	21,115	6,574	208	1,878	1,594	5,434	2,942	39,748	3,571	2,216	860	6,647	580	7,228	46,976	△ 3,956	43,020
構成比(%)	44.9	14.0	0.4	4.0	3.4	11.6	6.3	84.6	7.7	4.7	1.8	14.2	1.2	15.4	100.0	-	-
営業利益又は損失(△)	198	△ 141	△ 605	114	△ 30	△ 46	△ 39	△ 551	196	△ 62	△ 250	△ 116	△ 102	△ 219	-	-	△ 770
売上高営業利益率(%)	0.9	△ 2.1	△ 291.2	6.1	△ 1.9	△ 0.9	△ 1.3	△ 1.4	5.5	△ 2.8	△ 29.1	△ 1.8	△ 17.7	△ 3.0	-	-	△ 1.8

平成26年3月期第4四半期連結会計期間(平成26年1月1日～平成26年3月31日) - 差引予想

(単位:百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計			
									米国	欧州	豪州	計					
売上高																	
外部顧客に対する売上高	21,240	5,816	224	1,848	2,055	6,179	469	37,833	2,685	2,425	916	6,027	891	6,919	44,753	-	44,753
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	2,580	2,580	622	766	78	1,467	55	1,523	4,103	△ 4,103	-
計	21,240	5,816	224	1,848	2,055	6,179	3,049	40,414	3,308	3,192	995	7,495	947	8,443	48,857	△ 4,103	44,753
構成比(%)	43.5	11.9	0.5	3.8	4.2	12.6	6.2	82.7	6.9	6.5	2.0	15.4	1.9	17.3	100.0	-	-
営業利益又は損失(△)	695	229	△ 523	△ 164	25	△ 204	△ 32	25	214	△ 139	△ 211	△ 136	△ 414	△ 551	-	-	△ 526
売上高営業利益率(%)	3.3	3.9	△ 232.8	△ 8.9	1.3	△ 3.3	△ 1.1	0.1	6.5	△ 4.4	△ 21.3	△ 1.8	△ 43.8	△ 6.5	-	-	△ 1.2

第4四半期連結会計期間 - 増減

(単位:百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計			
									米国	欧州	豪州	計					
売上高																	
外部顧客に対する売上高	124	△ 757	16	△ 29	461	744	7	566	△ 120	884	64	828	338	1,167	1,733	-	1,733
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	99	99	△ 143	91	70	19	28	47	146	△ 146	-
計	124	△ 757	16	△ 29	461	744	106	665	△ 263	975	135	848	366	1,214	1,880	△ 146	1,733
増減率(%)	0.6	△ 11.5	8.0	△ 1.6	28.9	13.7	3.6	1.7	△ 7.4	44.0	15.7	12.8	63.2	16.8	4.0	-	4.0
営業利益又は損失(△)	497	370	82	△ 279	56	△ 158	7	576	18	△ 77	38	△ 20	△ 312	△ 332	-	-	244

<通期>

平成25年3月期通期(平成24年4月1日～平成25年3月31日) - 実績

(単位:百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計			
									米国	欧州	豪州	計					
売上高																	
外部顧客に対する売上高	96,093	27,551	7,929	8,931	7,700	25,045	1,839	175,093	10,606	4,463	3,758	18,828	2,311	21,140	196,233	-	196,233
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	11,920	11,920	1,156	1,395	8	2,559	80	2,639	14,560	△ 14,560	-
計	96,093	27,551	7,929	8,931	7,700	25,045	13,760	187,013	11,762	5,859	3,766	21,388	2,391	23,780	210,794	△ 14,560	196,233
構成比(%)	45.5	13.1	3.8	4.2	3.7	11.9	6.5	88.7	5.6	2.8	1.8	10.2	1.1	11.3	100.0	-	-
営業利益又は損失(△)	5,321	1,683	3	806	478	1,496	143	9,934	551	△ 399	△ 546	△ 394	△ 261	△ 656	-	-	9,278
売上高営業利益率(%)	5.5	6.1	0.0	9.0	6.2	6.0	1.0	5.3	4.7	△ 6.8	△ 14.5	△ 1.8	△ 10.9	△ 2.8	-	-	4.7

平成26年3月期通期(平成25年4月1日～平成26年3月31日) - 予想

(単位:百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計			
									米国	欧州	豪州	計					
売上高																	
外部顧客に対する売上高	90,100	23,300	8,300	9,500	8,700	26,100	1,800	167,800	12,800	7,700	3,500	24,000	3,200	27,200	195,000	-	195,000
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	13,000	13,000	1,100	3,000	200	4,300	200	4,500	17,500	△ 17,500	-
計	90,100	23,300	8,300	9,500	8,700	26,100	14,800	180,800	13,900	10,700	3,700	28,300	3,400	31,700	212,500	△ 17,500	195,000
構成比(%)	42.4	11.0	3.9	4.5	4.1	12.3	7.0	85.2	6.5	5.0	1.7	13.2	1.6	14.8	100.0	-	-
営業利益又は損失(△)	4,100	1,000	-	500	400	900	300	7,200	700	△ 100	△ 500	100	△ 500	△ 400	-	-	6,800
売上高営業利益率(%)	4.6	4.3	-	5.3	4.6	3.4	2.0	4.0	5.0	△ 0.9	△ 13.5	0.4	△ 14.7	△ 1.3	-	-	3.5

通期 - 増減

(単位:百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計			
									米国	欧州	豪州	計					
売上高																	
外部顧客に対する売上高	△ 5,993	△ 4,251	370	568	999	1,054	△ 39	△ 7,293	2,193	3,236	△ 258	5,171	888	6,059	△ 1,233	-	△ 1,233
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	1,079	1,079	△ 56	1,604	191	1,740	119	1,860	2,939	△ 2,939	-
計	△ 5,993	△ 4,251	370	568	999	1,054	1,039	△ 6,213	2,137	4,840	△ 66	6,911	1,008	7,919	1,705	△ 2,939	△ 1,233
増減率(%)	△ 6.2	△ 15.4	4.7	6.4	13.0	4.2	7.6	△ 3.3	18.2	82.6	△ 1.8	32.3	42.1	33.3	0.8	-	△ 0.6
営業利益又は損失(△)	△ 1,221	△ 683	△ 3	△ 306	△ 78	△ 596	156	△ 2,734	148	299	46	494	△ 238	256	-	-	△ 2,478

(7) 四半期個別貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前第3四半期 会計期間 (平成24年12月31日)		当第3四半期 会計期間 (平成25年12月31日)		増 減 金 額	前事業年度 (平成25年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
	(資産の部)						
流 動 資 産							
現 金 及 び 預 金	22,261		15,544		△ 6,716	13,044	
売 掛 金	24,269		23,822		△ 446	23,851	
有 価 証 券	19,216		14,778		△ 4,437	14,817	
商 品 及 び 製 品	5,910		6,612		701	6,989	
仕 掛 品	38		40		1	35	
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	10,992		14,788		3,795	11,496	
前 払 費 用	409		492		82	374	
繰 延 税 金 資 産	921		—		△ 921	490	
短 期 貸 付 金	1,403		13,284		11,881	5,693	
未 収 入 金	3,630		3,163		△ 467	3,445	
デ リ バ テ ィ ブ 債 権	736		8,225		7,488	2,566	
そ の 他 の 債 権	122		207		85	50	
貸 倒 引 当 金	△ 50		△ 67		△ 17	△ 62	
流 動 資 産 合 計	89,863	57.6	100,893	58.1	11,030	82,792	54.8
固 定 資 産							
有 形 固 定 資 産							
建 物	24,025		24,107		81	24,144	
減 価 償 却 累 計 額	△ 15,214		△ 15,302		△ 88	△ 15,366	
建 物 (純 額)	8,811		8,804		△ 6	8,778	
構 築 物	3,543		3,534		△ 9	3,540	
減 価 償 却 累 計 額	△ 2,879		△ 2,834		45	△ 2,883	
構 築 物 (純 額)	664		700		35	656	
機 械 及 び 装 置	47,195		50,442		3,247	50,240	
減 価 償 却 累 計 額	△ 41,303		△ 41,920		△ 616	△ 41,663	
機 械 及 び 装 置 (純 額)	5,892		8,522		2,630	8,576	
車 両 運 搬 具	87		82		△ 4	87	
減 価 償 却 累 計 額	△ 82		△ 78		3	△ 82	
車 両 運 搬 具 (純 額)	5		4		△ 1	5	
工 具 、 器 具 及 び 備 品	4,634		5,020		386	4,860	
減 価 償 却 累 計 額	△ 4,027		△ 4,178		△ 151	△ 4,119	
工 具 、 器 具 及 び 備 品 (純 額)	607		841		234	740	
土 地	5,168		5,162		△ 6	5,168	
リ ー ス 資 産	1,607		957		△ 649	1,411	
減 価 償 却 累 計 額	△ 946		△ 496		449	△ 846	
リ ー ス 資 産 (純 額)	661		460		△ 200	565	
建 設 仮 勘 定	2,385		86		△ 2,299	42	
有 形 固 定 資 産 合 計	24,196	15.5	24,584	14.2	387	24,533	16.3
無 形 固 定 資 産							
借 地 権	155		155		—	155	
商 標	1		1		△ 0	1	
ソ フ ト ウ ェ ア	2,704		2,287		△ 417	2,694	
そ の 他 の 債 権	42		38		△ 4	38	
無 形 固 定 資 産 合 計	2,904	1.9	2,482	1.4	△ 421	2,890	1.9
投 資 そ の 他 の 資 産							
投 資 有 価 証 券	11,920		14,063		2,142	14,057	
関 係 会 社 株 式	13,842		16,347		2,505	14,415	
出 資 金	15		15		—	15	
関 係 会 社 出 資 金	396		2,494		2,098	136	
関 係 会 社 長 期 貸 付 金	9,315		10,202		887	9,399	
破 産 更 生 債 権 等	2		2		—	3	
長 期 前 払 費 用	41		62		21	68	
繰 延 税 金 資 産	1,716		674		△ 1,041	949	
保 険 積 立 資 産	125		125		—	125	
敷 金	630		624		△ 6	628	
長 期 預 金	1,000		1,000		—	1,000	
そ の 他 の 債 権	428		496		68	427	
貸 倒 引 当 金	△ 252		△ 448		△ 195	△ 447	
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	39,182	25.0	45,661	26.3	6,479	40,779	27.0
固 定 資 産 合 計	66,282	42.4	72,728	41.9	6,445	68,203	45.2
資 産 合 計	156,146	100.0	173,621	100.0	17,475	150,995	100.0

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前第3四半期 会計期間 (平成24年12月31日)		当第3四半期 会計期間 (平成25年12月31日)		増 減 金 額	前事業年度 (平成25年3月31日)	
		金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
		(負債の部)						
流動負債	債 形							
支払手形		244		106		△ 137	209	
買掛金		13,624		13,720		96	13,390	
短期借入金		12,030		11,496		△ 533	2,341	
1年内返済予定の長期借入金		1,086		2,015		929	686	
リース債		330		171		△ 158	276	
未払金		10,903		8,689		△ 2,213	11,255	
未払費用		531		540		8	589	
未払法人税等		2,027		1,332		△ 695	2,172	
未払消費税等		398		260		△ 138	—	
繰延税金負債		—		1,498		1,498	—	
預り金		177		183		6	102	
前受収益		—		—		—	4	
賞与引当金		1,196		995		△ 200	2,217	
役員賞与引当金		38		48		9	59	
設備関係支払手形		306		61		△ 244	328	
その他		200		613		413	223	
流動負債合計		43,096	27.6	41,734	24.0	△ 1,361	33,857	22.4
固定負債								
長期借入金		10,611		21,438		10,826	13,889	
リース債		358		314		△ 44	313	
退職給付引当金		2,639		2,812		172	2,523	
債務保証損失引当金		768		—		△ 768	—	
受入敷金保証金		205		186		△ 18	200	
その他		173		201		28	172	
固定負債合計		14,757	9.5	24,953	14.4	10,196	17,099	11.3
負債合計		57,854	37.1	66,688	38.4	8,834	50,956	33.7
(純資産の部)								
株主資本								
資本金		19,985	12.8	19,985	11.5	—	19,985	13.2
資本剰余金		23,733	15.2	23,733	13.7	—	23,733	15.7
資本準備金		23,733		23,733		—	23,733	
利益剰余金		53,538	34.2	55,781	32.1	2,243	52,647	34.9
利益準備金		1,193		1,193		—	1,193	
その他利益剰余金		52,345		54,588		2,243	51,454	
固定資産圧縮積立金		971		1,252		280	1,252	
固定資産圧縮特別勘定積立金		160		—		△ 160	—	
トマト翁記念基金		100		170		70	70	
別途積立金		42,020		45,520		3,500	42,020	
繰越利益剰余金		9,092		7,646		△ 1,445	8,112	
自己株		△ 211	△ 0.1	△ 588	△ 0.3	△ 377	△ 212	△ 0.1
株主資本合計		97,045	62.1	98,911	57.0	1,866	96,154	63.7
評価・換算差額等								
その他有価証券評価差額金		767	0.5	2,713	1.6	1,945	2,248	1.5
繰延ヘッジ損益		479	0.3	5,307	3.0	4,828	1,636	1.1
評価・換算差額等合計		1,246	0.8	8,021	4.6	6,774	3,885	2.6
純資産合計		98,292	62.9	106,933	61.6	8,640	100,039	66.3
負債純資産合計		156,146	100.0	173,621	100.0	17,475	150,995	100.0

(注)この四半期個別貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(8) 四半期個別損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	前第3四半期 累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		当第3四半期 累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)		増 減		前事業年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
売 上 高	135,898	100.0	128,259	100.0	△ 7,638	△ 5.6	172,756	100.0
売 上 原 価	63,990	47.1	64,787	50.5	796	1.2	81,992	47.5
売 上 総 利 益	71,907	52.9	63,472	49.5	△ 8,435	△ 11.7	90,764	52.5
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	61,444	45.2	56,804	44.3	△ 4,640	△ 7.6	80,761	46.7
営 業 利 益	10,462	7.7	6,668	5.2	△ 3,794	△ 36.3	10,002	5.8
営 業 外 収 益								
受 取 利 息	140		238		97		178	
有 価 証 券 利 息	41		27		△ 13		52	
受 取 配 当 金	323		260		△ 63		411	
為 替 差 益	44		103		58		111	
雑 収 入	200		181		△ 18		248	
営 業 外 収 益 合 計	751	0.6	811	0.6	60	8.0	1,003	0.6
営 業 外 費 用								
支 払 利 息	69		83		13		93	
貸 貸 収 入 原 価	59		25		△ 33		76	
雑 支 出	70		73		2		148	
営 業 外 費 用 合 計	200	0.2	182	0.1	△ 18	△ 9.1	318	0.2
経 常 利 益	11,013	8.1	7,297	5.7	△ 3,716	△ 33.7	10,687	6.2
特 別 利 益								
固 定 資 産 売 却 益	318		319		1		319	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	1		670		669		1	
債 務 保 証 損 失 引 当 金 戻 入 額	—		—		—		768	
特 別 利 益 合 計	319	0.2	990	0.7	670	209.7	1,089	0.6
特 別 損 失								
固 定 資 産 処 分 損	82		56		△ 25		191	
投 資 有 価 証 券 売 却 損	17		—		△ 17		17	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	—		—		—		51	
関 係 会 社 株 式 評 価 損	—		—		—		634	
関 係 会 社 出 資 金 評 価 損	—		—		—		259	
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	—		—		—		194	
ゴ ル フ 会 員 権 評 価 損	2		—		△ 2		2	
事 業 整 理 損	20		—		△ 20		164	
特 別 損 失 合 計	122	0.1	56	0.0	△ 66	△ 54.3	1,515	0.9
税 引 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益	11,210	8.2	8,232	6.4	△ 2,978	△ 26.6	10,261	5.9
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	4,242		3,108		△ 1,134		4,362	
法 人 税 等 調 整 額	△ 50		—		50		△ 228	
法 人 税 等 合 計	4,192	3.0	3,108	2.4	△ 1,083	△ 25.8	4,133	2.4
四 半 期 (当 期) 純 利 益	7,018	5.2	5,123	4.0	△ 1,895	△ 27.0	6,128	3.5

(注) この四半期個別損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(12月31日に終了した3ヶ月間)

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前第3四半期 会計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)		当第3四半期 会計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)		増 減	
		金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率
売 上	高	42,025	100.0	39,020	100.0	△ 3,004	△ 7.2
売 上	原 価	20,074	47.8	19,714	50.5	△ 359	△ 1.8
売 上	総 利 益	21,950	52.2	19,305	49.5	△ 2,645	△ 12.1
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		18,951	45.1	16,617	42.6	△ 2,334	△ 12.3
営 業 利 益		2,998	7.1	2,687	6.9	△ 311	△ 10.4
営 業 外 収 益							
受 取 利 息		47		95		47	
有 価 証 券 利 息		11		9		△ 1	
受 取 配 当 金		67		69		1	
為 替 差 益		69		88		19	
雑 収 入		39		43		3	
営 業 外 収 益 合 計		234	0.6	305	0.7	70	30.1
営 業 外 費 用							
支 払 利 息		24		36		12	
貸 貸 収 入 原 価		19		6		△ 12	
雑 支 出		21		11		△ 10	
営 業 外 費 用 合 計		64	0.2	54	0.1	△ 10	△ 15.8
経 常 利 益		3,168	7.5	2,938	7.5	△ 230	△ 7.3
特 別 損 失							
固 定 資 産 処 分 損		28		19		△ 9	
投 資 有 価 証 券 売 却 損		1		—		△ 1	
事 業 整 理 損		19		—		△ 19	
特 別 損 失 合 計		49	0.1	19	0.0	△ 30	△ 61.5
税 引 前 四 半 期 純 利 益		3,118	7.4	2,918	7.5	△ 199	△ 6.4
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 等		1,160		1,175		15	
法 人 税 等		1,160	2.7	1,175	3.0	15	1.3
四 半 期 純 利 益		1,958	4.7	1,742	4.5	△ 215	△ 11.0

(注) この四半期個別損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

当資料お取扱い上の注意点

当資料はカゴメの現在の計画、見通し、戦略などのうち歴史的
事実でないものは、現在入手可能な情報から得られたカゴメの
経営者の判断に基づいております。従いまして、これら業績見
通しのみに全面的な依拠することは控えるようお願い致しま
す。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績
見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきく
ださい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、以下のよ
うなものが含まれます。すなわち、①天候、特に夏場の低温 ②
異物混入等の製品事故 ③カゴメの事業領域を取り巻く経済情
勢、特に消費動向 ④変わりやすい顧客嗜好などを特徴とする激
しい競争にさらされた市場の中で、顧客に受け入れられる製品
やサービスをカゴメが企画・開発し続けていく能力 ⑤天災等
による生産施設における災害の発生などです。ただし、業績に影
響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。ま
た当資料は、あくまでカゴメをより深く理解していただくため
のものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。
さらに当資料に記載されている市場などのデータ等におきま
しても、当社が信頼に足りかつ正確であると判断した情報に
基づき作成しておりますが、将来の予測のみならず過去の
部分も含めて、見直し等により予告なしに変更することがあ
りますので注意ください。